

8. 臨床検査自動化用 メッセージ構文

8.	臨床検査自動化用 メッセージ構文	8-1
8.1.	自動化装置ステータス (ESU/ESR)	8-2
8.1.1.	ESU/ACK - 自動化装置ステータス更新 イベント (U01)	8-2
8.1.2.	ESR/ACK - 自動化装置ステータス要求 イベント (U02)	8-2
8.2.	検体ステータス (SSU/SSR)	8-2
8.2.1.	SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント (U03).....	8-2
8.2.2.	SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント (U04).....	8-2
8.3.	自動化装置在庫 (INU/INR)	8-2
8.3.1.	INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント (U05).....	8-2
8.3.2.	INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント (U06).....	8-2
8.4.	自動化装置コマンド (EAC/EAR)	8-2
8.4.1.	EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント (U07).....	8-2
8.4.2.	EAR/ACK 自動化装置応答 イベント (U08).....	8-2
8.5.	自動化装置通知 (EAN/ACK)	8-2
8.5.1.	EAN/ACK 自動化装置通知 イベント (U09).....	8-2
8.5.2.	EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント (U07).....	8-2
8.6.	自動化装置検査コード設定 (TCU/TCR)	8-2
8.6.1.	TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント (U10).....	8-2
8.6.2.	TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント (U11).....	8-2
8.7.	自動化装置ログ/サービス (LSU/LSR)	8-2
8.7.1.	LSU/ACK 自動化装置ログ/サービス更新 イベント (U12).....	8-2
8.7.2.	LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求 イベント (U13).....	8-2

メッセージ構文での表記規則：

- Comment(JPN) (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - 必須。
 - O - オプション。
 - C - トリガイベントまたはメッセージの使用条件による。
 - X - 本規約では使用しない。
 - N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)。
- 注： [] は省略可能、{} は繰返し可能を示す。

8.1. 自動化装置ステータス(ESU/ESR)

装置または装置ステータスに関する情報の要求には自動化装置ステータス要求 (ESR) を用い、その場合の応答には自動化装置ステータス更新 (ESU) を使用する。
なお、自動化装置ステータス更新 (ESU) は自発的に装置または装置ステータスに関する情報の更新を行うために送信できる。

8.1.1.ESU/ACK – 自動化装置ステータス更新 イベント (U01)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに装置または装置のステータスに関する情報を送信するために使用される (例: **Equipment** → **LAS**)。
ステータス更新は、自発的に、または「自動化装置ステータス要求」トリガへの応答として送信できる。

ESU/ACK 自動化装置ステータス更新メッセージ

ESU^U01 Equipment Status Message

<u>ESU^U01^ESU U01</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ [ISD] }	Interaction Status Detail	O	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U01 General Acknowledgment

<u>ACK^U01^ACK</u>	<u>General Acknowledgement</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error ¹	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ISDセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

¹ このエラーセグメントは否認トランザクションの起因となったフィールドを示す。

8.1.2.ESR/ACK – 自動化装置ステータス要求 イベント (U02)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに機器または装置のステータスに関する情報を要求するために使用される（例：LAS → Equipment）。

EQUセグメントで指定された装置は、「自動化装置ステータス更新」を使ってステータスを返す必要がある。

ESR/ACK 自動化装置ステータス要求メッセージ

ESR^U02 Equipment Status Message

<u>ESR^U02^ESR U02</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
{{ SFT }}	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U02 General Acknowledgment

<u>ACK^U02^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
{{ SFT }}	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
{{ ERR }}	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.2. 検体ステータス(SSU/SSR)

8.2.1.SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を 1 つのアプリケーションから他のアプリケーションに送信するために使用される。(例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ)

SAC セグメントの後の OBX セグメントは SAC セグメントに含まれない情報を転送するために使われる。

SPM セグメントの後の OBX セグメントは SPM セグメントに関連する情報を転送するために使われる。

注) このメッセージは IHE 臨床検査テクニカルフレームワーク LDA プロファイルの LAB-26 トランザクションに使用される。

SSU/ACK 検体ステータス更新メッセージ

SSU^U03 Specimen Status Message

<u>SSU^U03^SSU U03</u>	<u>Specimen Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [OBX] }	Additional specimen characteristics	O	7
{ {	--- SPECIMEN begin		
SPM	Specimen	O	7
{ [OBX] }	Specimen related observation	O	7
}]	--- SPECIMEN end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	N	12

ACK^U03 General Acknowledgment

<u>ACK^U03^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SAC セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- OBX セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.2.2.SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント(U04)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を 1 つのアプリケーションから他のアプリケーションに要求するために使用される（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。

この要求は SAC セグメントの内容の組み合わせ—容器、キャリア、トレイ、検体位置によって実現される。

EQU セグメントで指定された装置は「検体ステータス更新」を使って応答する必要がある。

SSR/ACK 検体ステータス要求メッセージ

SSR^U04 Specimen Status Message

<u>SSR^U04^SSR U04</u>	<u>Specimen Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U04 General Acknowledgment

<u>ACK^U04^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SAC セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.3. 自動化装置在庫 (INU/INR)

8.3.1. INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される (例: 自動化装置から臨床検査自動化システムへ)。

INU/ACK 自動化装置在庫更新メッセージ

INU^U05 Inventory Update Message

<u>INU^U05^INU U05</u>	<u>Inventory Update Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U05 General Acknowledgment

<u>ACK^U05^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1 (装置 ID) と EQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- INV は一連の在庫情報の通知に 1 個以上必須である。複数の在庫情報がまとめて伝送される場合、INV が在庫項目毎の区切りとなる。
- INV セグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資 ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.3.2. INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント(U06)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例：臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置在庫更新」を使って INV セグメントに指定された在庫項目（またはすべての項目）を返す必要がある。

INR/ACK 自動化装置在庫要求メッセージ

INR^U06 Inventory Request Message

<u>INR^U06^INR U06</u>	<u>Inventory Request Message</u>	<u>Commen</u>	<u>Chapter</u>
		<u>t (JPN)</u>	
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U06 General Acknowledgment

<u>ACK^U06^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Commen</u>	<u>Chapter</u>
		<u>t (JPN)</u>	
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数の在庫情報がまとめて要求する場合、INV が要求項目毎の区切りとなる。INV は一連の在庫情報の要求に最低 1 個必須である。（すべての在庫情報を要求する時は、INV-1 の物資 ID に 'ALL' に相当するコード、文字列などを CWE 型で指定する。）
- INV セグメントに含まれる主題フィルター (INV-1、物資 ID) は、照会システム (LIS/LAS) と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- INR に対する回答 (INU) では、INV セグメントに含まれる問い合わせ内容 (INV-1、など) をエコーバックする。
また、同じの数だけの INV セグメントを繰り返す。
- INU があった時、先行する INR の回答である保証はしない。必要あれば、要求側 (LIS/LAS) が再度要求する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.4. 自動化装置コマンド(EAC/EAR)

自動化装置コマンド、自動化装置応答にはメッセージ(EAC/EAR)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EACメッセージは、自動化装置コマンド、自動化装置通知(クリア)の2種類のコマンドに使用される。自動化装置通知での使用方法については、次節に記載する。

8.4.1.EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント(U07)

このメッセージは、装置コマンドを、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：LAS→Equipment)

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07 Equipment Command Message

<u>EAC^U07^EAC U07</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity	O	?
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07 General Acknowledgment

<u>ACK^U07^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに1つ必須である。
- EQU セグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- 1つの ECD セグメントに対して、SAC, CNS セグメントで情報を補足することができる。
- SAC セグメントは省略ができる。
- CNS は、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンドとしてのメッセージ交換では使用しない。(次節の通知メッセージで使用する)
- ECD-2 リモート制御コマンドは、テーブル 0368 をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- HL7 自体に明確な規定はないが、本仕様では、ECD-2 リモート制御コマンドに、詳細な情報を付加する必要がある場合には、ECD-5 パラメータに詳細を記述する。(ECD-2 が"EX"に限らない)SFT セグメントは省略ができる。

- TQ1 セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.4.2.EAR/ACK 自動化装置応答 イベント(U08)

このメッセージは、直前に発行されたコマンドに対する自動化装置応答を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：Equipment→LAS)

EAR/ACK 自動化装置応答メッセージ

EAR^U08 Equipment Command Response

<u>EAR^U08^EAR U08</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND_RESPONSE begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
ECR	Equipment Command Response	R	13
}	--- COMMAND_RESPONSE end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U08 General Acknowledgment

<u>ACK^U08^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに 1 つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに 1 つ必須である。
- ECD セグメントは、1 つのコマンド情報送信への応答として、1 セグメント必要である。
- EAR メッセージの ECD セグメントは、EAC メッセージの ECD セグメントをエコーバックする。
- 1 つの ECD セグメントに、1 つの ECR セグメントを対で付加する。
- 1 つの ECD セグメントに対して、SAC セグメントおよび SPM セグメントで情報を補足することができる。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SAC セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.5. 自動化装置通知(EAN/ACK)

自動化装置通知及びクリアにはメッセージ(EAN/ EAC)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EANメッセージは自動化装置からのメッセージをひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例えば警報をEquipment→LAS)

8.5.1. EAN/ACK 自動化装置通知 イベント(U09)

このメッセージは、装置からの通知を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：Equipment→LAS)

EAN/ACK 自動化装置通知メッセージ

EAN^U09 Equipment Status Message

<u>EAN^U09^EAN U09</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- NOTIFICATION begin		
NDS	Notification Detail	R	13
[NTE]	Notification Note	O	2
}	--- NOTIFICATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U09 General Acknowledgment

<u>ACK^U09^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに1つ必須である。
- EQU セグメントは、メッセージに1つ必須である。
- NDS セグメントによる通知は、EAN メッセージ内で複数の使用が可能である。
- NTE セグメントは省略ができる。
- NDS-4 通知コードは、接続仕様ごとに、機種間でエラーコードなどの取り決めを行い使用する。
- HL7 自体に明確な規定はないが、本仕様では、NDS-2 は、送信日時ではなく、通知するイベントの発生日時とする。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.5.2.EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)

このメッセージは、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに行った通知を送信するために使用される。(例：LAS→Equipment)

EACメッセージはEANメッセージで送信された通知をクリアするコマンドとしても用いる事ができる。

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07 Equipment Command Message

<u>EAC^U07^EAC U07</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity		?
[--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07 General Acknowledgment

<u>ACK^U07^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH セグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSA セグメントは、ACK メッセージに1つ必須である。
- EQU セグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- ECD-2 リモート制御コマンドは、テーブル 0368 をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- SAC は、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンド(通知クリア)としてのメッセージ交換では使用しない。
- EAC メッセージは、EAN(自動化装置通知)メッセージで送信したメッセージのクリアコマンドとして使用する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- TQ1 セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。
- CNS セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.6. 自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)

8.6.1.TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント(U10)

TCU メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例。自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。このメッセージは、送り側システムの現在の測定パラメータを送信する。送信されたパラメータセットは、このメッセージの受け取り側のそれまでのパラメータセットに置き換わるとみなされる。（「追加」および「削除」はできない）

TCU/ACK 自動化検査コード設定メッセージ

TCU ^U10 Test Code Settings Update

<u>TCU^U10^TCU U10</u>	<u>Test Code Settings Update</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U10 General Acknowledgment

<u>ACK^U10^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに1つ必須である。
- MSA はACK メッセージに1つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置 ID）と EQU-2（イベントの日付/時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCC セグメントはメッセージに最低1つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6.2.TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント(U11)

TCR メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例。臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。EQU セグメントで指定された装置は、「自動化検査コード設定」を使って検査コードとパラメータを返す必要がある。

TCR/ACK 自動化検査コード要求メッセージ

TCR ^U11 Test Code Settings Request

<u>TCR^U11^TCU U10</u>	<u>Test Code Settings Request</u>	<u>Commen t (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK ^U11 General Acknowledgment

<u>ACK^U11^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Commen t (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに 1 つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに 1 つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1 (装置 ID) と EQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCC セグメントはメッセージに最低 1 つ必須である。
- SFT セグメントは省略ができる。
- SPM セグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.7. 自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)

8.7.1. LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。

LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新メッセージ

LSU^U12 Equipment Log/Service Message

<u>LSU^U12^LSU U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U12 General Acknowledgment

<u>ACK^U12^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに1つ必須である。
- MSA はACKメッセージに1つ必須である。
- EQU セグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- EQP は一連のログ／サービス情報の通知に1個以上必須である。複数の情報がまとめて伝送される場合、EQP が在庫項目毎の区切りとなる。
- EQP セグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2)（内容精査の必要有り）は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- LSR に対する回答(LSU)では、EQP セグメントに含まれる問い合わせ内容(EQP-1、EQP-2)をエコーバックする。（内容精査の必要有り）
また、同じの数だけのEQP セグメントを繰り返す。
- LSU があつた時、先行する LSR の回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.7.2. LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求 イベント(U13)

このメッセージは、ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例：臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置ログ/サービス更新」を使って EQP セグメントに指定された内容を返す必要がある。（ひとつの LSR に複数の LSU を返すことができる。）

LSR/ACK 自動化装置ログ/サービス要求メッセージ

LSR^U13 Equipment Log/Service Request Message

<u>LSR^U13^LSU U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U13 General Acknowledgment

<u>ACK^U13^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSH はメッセージに1つ必須である。
- MSA は ACK メッセージに1つ必須である。
LSR の要求に対して LSU で回答することができない時は、MSA でリジェクトを応答する
(例えば、要求されたデータ種がない、要求範囲が大きすぎる)。(内容精査の必要有り)
- EQU セグメントは、EQU-1 (装置 ID) と EQU-2 (イベントの日付/時刻) のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数のログ/サービス情報をまとめて要求する場合、EQP が要求項目毎の区切りとなる。EQP は最低1個必須である。
- EQP セグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2、EQP-3、EQP-4)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFT セグメントは省略ができる。
- ROL セグメントは省略ができる。
- ERR セグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。